

## 人工衛星SPOTがとらえた「大黒ふ頭」(1)

データ収集：東京スポットイマージュ株式会社

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

今号から人工衛星 SPOT から見た「国土の姿」を掲載しています。人工衛星 SPOT はフランスの宇宙機関である CNES（フランス国立宇宙研究センター）が設計し、スウェーデンとベルギーの協力のもとに開発されました。下記に SPOT-4 号と SPOT-5 号が観測した「大黒ふ頭」を掲載しました。上段の画像は、SPOT-5 号に掲載されているセンサ：HRVIR（High Resolution Visible and Infrared）が観測したパンクロマティックデータとマルチスペクトルデータを合成し、擬似的に分解能を高めた処理です。首都高速道路や横浜ベイブリッジ等を見ると、地上分解能の違い（2.5m と 10m）に伴う視認状況の違いがよく判ります。

